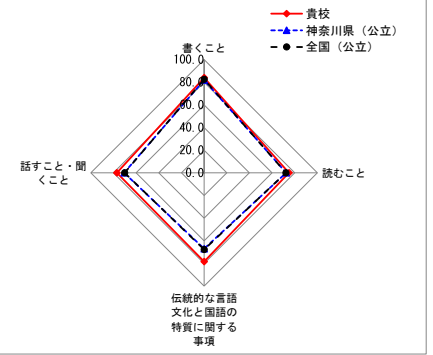


以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。
※ただし、4月18日に調査を実施していない学校については、4月19日以降5月7日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

集計結果

対象生徒数		横浜市立若葉台中学校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)	
		81	62,343	938,797	
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			貴校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
全体		10	78	73	72.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	77.0	70.6	70.2
	書くこと	2	84.0	82.0	82.6
	読むこと	3	74.9	72.5	72.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	78.4	67.0	67.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	80.2	76.3	76.5
	話す・聞く能力	3	77.0	70.6	70.2
	書く能力	2	84.0	82.0	82.6
	読む能力	3	74.9	72.5	72.2
	言語についての知識・理解・技能	2	78.4	67.0	67.7
問題形式	選択式	6	78.4	73.8	73.6
	短答式	1	69.1	55.4	56.8
	記述式	3	80.2	76.3	76.5

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの区分について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				(参考※)従来の区分		問題形式			正答率 (%)			無解答率 (%)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	「知識」に関する問題	「活用」に関する問題	選択式	短答式	記述式	貴校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)	貴校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
1一	「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したのとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ			2ウ												69.1	64.6	63.9	0.0	0.2	0.1
1二	「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える			1イ												64.2	62.0	61.5	0.0	0.2	0.1
1三	「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ			1オ												91.4	90.8	91.2	3.7	1.9	1.7
1四	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く	封筒の書き方を理解して書く			1(2)ア												69.1	55.4	56.8	6.2	5.7	5.6
2一	話合いでの発言の役割について説明したのとして適切なものを選択する	話合いの話題や方向を捉える			1オ												87.7	80.0	80.4	1.2	0.3	0.2
2二	話合いでの発言について説明したのとして適切なものを選択する	相手に分かりやすく伝わる表現について理解する			1ウ												72.8	70.3	69.7	1.2	0.3	0.3
2三	話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないうこと」について自分の考えを書く	話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ			1オ												70.4	61.4	60.4	8.6	8.3	8.9
3一	意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する			2エ												88.9	87.1	87.4	1.2	0.5	0.4
3二	広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く			1ウ												79.0	76.9	77.8	6.2	7.3	7.9
4	語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する	語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方を理解する			1(1)イ(ウ)												87.7	78.7	78.7	1.2	1.1	1.2

※過年度からの継続的な分析に資するため、参考として設けた。